

63 地域の人材が働ける機会を創造すること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市の昼夜間人口比率は、94.9%となっています。1日の流出入人口をみると、市民の約26%は、昼間、通勤・通学等で市外に流出しています。そのうち、約30%は、東京への通勤・通学者です。一方、昼間人口の約22%は市外からの通勤・通学者で、市内へ流入しています。（2005年（平成17年）国勢調査）
- ② 藤沢公共職業安定所管内の有効求人倍率は、2010年（平成22年）8月に0.31倍となっており、全国、県内と比較して低い状況です。
- ③ 派遣労働者、ニート、フリーターの増加が近年社会問題化しています。
- ④ 県内の民間企業（常用労働者数56人以上規模の企業、2010年（平成22年）6月調査）の障がい者実雇用率は前年より0.05ポイント上昇し、1.62%となりました。同じく法定雇用率を達成している企業の割合は、2.3ポイント上昇して、45.8%となりました。障がい者の雇用状況は、改善の方向にあります。しかし法定雇用率1.8%に比べると0.18ポイントの隔たりがあり、取り組みの強化が求められています。



【戦略目標】

18 地域の人材を活かした雇用機会を創出するまち

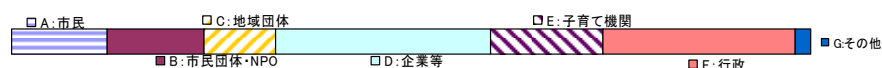
【成果指標】

- ① 有効求人倍率
- ② 新たな産業集積と雇用の創出に満足している人の割合

【現状値】 ①0.35 ②10%

【めざそう値】 3年後：①0.88 ②15% 6年後：①1.10 ②30%

【役割の担い手】 ①A:12% B:12% C:9% D:27% E:14% F:24% G:2%



②A:13% B:16% C:8% D:25% E:10% F:25% G:3%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-64》 多様化した市民ニーズに対応する就労支援事業の推進

＜成果の視点＞ 若者から高齢者まで、ニーズに沿った働きのあること

〔主要な指標〕 新たな産業集積と雇用の創出に満足している人の割合（20歳～30歳代）

《政策-65》 障がい者等の自立支援の推進

＜成果の視点＞ 障がい者にとって働きやすさと働きがいのある職場があること

〔主要な指標〕 障がい者実雇用率

事業名	就労支援(仮称「JOBカフェ藤沢」)事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-7-63-18-64-1	地域分権区分					
事業内容	<p>ハローワークを補完し、市内の求職者に対してより一層丁寧な相談を行い、就労の長期定着を図るとともに、市内企業に求職者を紹介することで、労働力を確保し市内産業の活性化を図ります。2013年度(平成25年度)には、(仮称)JOBカフェ藤沢との一体化を図ります。また、ハローワーク藤沢管内の3市1町で広域連携を図り、ハローワーク藤沢、商工会議所等と連携し、就職機会と人材発掘の場を提供する求職・求人支援事業を実施します。</p> <p>1 無料職業紹介事業(藤沢しごと相談システム)の実施 2 若年者雇用対策事業の実施 3 湘南就職面接会の実施</p>					
活動指標	①若年者雇用対策カウンセリング回数(年間) ②湘南就職面接会における面接回数(年間)					
目標値	現状値	①756回②382回	3年後目標値	①1,872回②390回	6年後目標値	①2,340回②390回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、無料職業紹介事業におけるカウンセリング・マッチング及び市内企業の求人開拓等について、調整管理を行うとともに、就職困難者の支援の強化を図るため、若者サポートステーション等関係機関との連携などの調整管理を行います。また、広域連携事業として実施する湘南就職面接会の企画及び関係機関との調整を行う役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→					
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	総合的な就労支援を行うことにより、雇用のアンマッチが解消され、就労の長期定着及び就職率の改善が図られます。また、ニート・フリーターを含めた若年者就労に関するワンストップサービスの実施が図られます。					
担当部課	経済部勤労市民課					

事業名	技能職育成支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-63-18-64-2	地域分権区分					
事業内容	<p>技能職の後継者の育成・確保及び技能の継承を図るとともに、技能職の社会的地位の向上をめざします。また、湘南C-Xに開設予定の(仮称)JOBカフェ藤沢と連携し、ニート・フリーター等の若年者支援施策としても検討を進めます。</p> <p>1 (仮称)藤沢版マイスター制度の検討 2 新たな職人版インターンシップ事業(JOBカフェ事業との連携)の検討</p>					
活動指標	①マイスター認定者数(年間) ②新たな職人版インターンシップへの参加者数(年間)					
目標値	現状値	①0人②0人	3年後目標値	①5人②8人	6年後目標値	①5人②16人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、(仮称)藤沢版マイスター制度を創設し、技能職者の地位の向上が図られるよう調整管理を行います。また、(仮称)JOBカフェ藤沢と連携し、マイスターによる技術指導等により後継者の育成を図るとともに、若年者の新たな就労支援施策となるよう関係機関と調整を行う役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→					
(地域)	検討	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	後継者不足に悩む技能職者の地位の向上をめざすとともに、若年者を中心とした地域の人材を活かした雇用機会の創出が図られます。					
担当部課	経済部勤労市民課					

事業名	障がい者就労支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-7-63-18-65-1	地域分権区分					
事業内容	障がいのある人の自立の促進を図るため、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町との広域連携により湘南地域就労援助センターへ助成を行い、障がいのある人の就労の場の確保並びに就労支援及び職場定着支援を推進します。また、障がいのある人の就労の場の拡大を図るため、市及び市出資法人内での障がいのある人の働く場の拡大に努めるとともに、民間企業において就労が促進されるよう支援を推進します。 1 2市1町の広域連携による湘南地域就労援助センターへの助成 2 市及び市出資法人内等で働く場の拡大、民間企業における就労の促進支援					
活動指標	湘南地域就労援助センター就労者数(累計)					
目標値	現状値	141人	3年後目標値	180人	6年後目標値	210人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町は、広域連携により湘南地域就労援助センターに助成し、障がいのある人の就労支援を促進します。					
事業スケジュール				第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	障がいのある人の就労の場の確保並びに就労支援及び職場定着支援を行うことにより、障がいのある人の就労促進が図られます。					
担当部課	保健福祉部障がい福祉課(2011年(平成23年)4月からの課の名称となります。)					

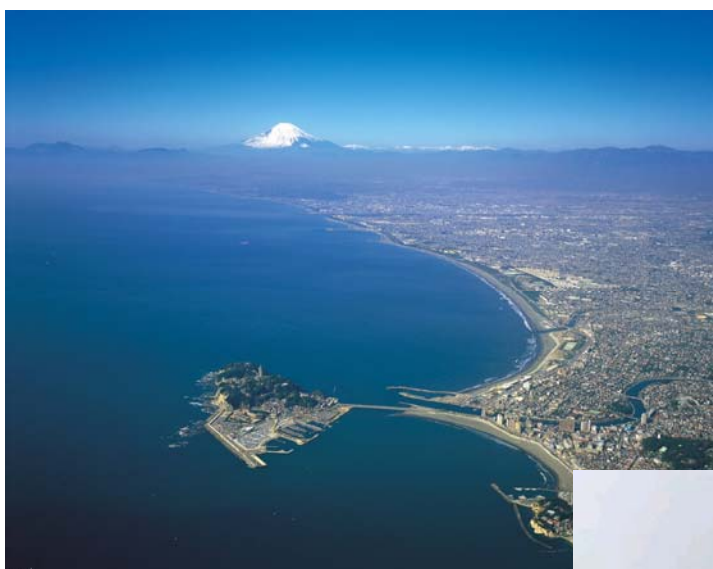
事業名	障がい者雇用促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-63-18-65-2	地域分権区分					
事業内容	事業所及び市民に対し障がい者雇用についての理解と協力の促進を図ります。 1 障がい者合同面接会の実施 2 障がい者雇用促進事業所訪問の実施 3 障がい者雇用促進街頭キャンペーンの実施 4 障がい者雇用優良事業所・障がい者支援優良事業所感謝状贈呈式の実施 5 湘南地区障がい者卓球大会の実施 6 障がい者を対象とした就職支援セミナーの検討					
活動指標	①障がい者合同面接会採用決定者数(年間) ②障がい者雇用促進事業訪問事業所数(年間)					
目標値	現状値	①20人②15事業所	3年後目標値	①22人②16事業所	6年後目標値	①24人②17事業所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、各種事業について事業所や関係機関と調整を図り、実施に向けた調整を行うとともに、各種事業の運営に携わります。また、障がい者の雇用促進に向けた事業所訪問では藤沢公共職業安定所、市障がい福祉課(2011年(平成23年)4月からの課の名称となります。)との連携・調整を行う役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	障がい者の求人を予定する事業主と、就職を希望する障がい者の出会いの場を提供することで、雇用の促進が図られます。また、障がい者の雇用促進と定着に向けた要請を随時行うことにより、雇用状況の改善が図られます。					
担当部課	経済部勤労市民課					

ふじさわ未来課題

61 観光により地域が元気になること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市への観光客数は、海水浴客を含め、年間約 1,380 万人におよびます。
(2009年(平成21年))
- ② 藤沢には江の島や湘南海岸のほかにも、歴史ある史跡が多くあり、地域の大切な資産となっています。
- ③ 近年、市内北部でも、お祭りやイベントを核にした誘客が進みつつあり、多くの観光客による賑わいをみせています。例えば、不法投棄などで汚染の進む小出川を彼岸花の植栽を通じてきれいにしようという活動の中で進められてきた「小出川彼岸花まつり」は、茅ヶ崎市、寒川町の住民と連携して開催されています。



【戦略目標】

19 多様な地域資源を活かした観光立市のまち

【成果指標】

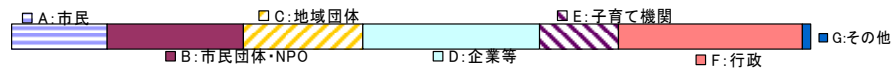
① 江の島や湘南海岸の観光地としての魅力に満足している人の割合

② 藤沢市観光客数（海水浴客を除く。）

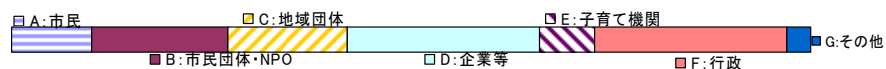
【現状値】 ①34% ②963万人

【めざそう値】 3年後：①40% ②980万人 6年後：①50% ②1,000万人

【役割の担い手】 ①A:12% B:17% C:15% D:22% E:10% F:23% G:1%



②A:10% B:17% C:15% D:24% E:7% F:24% G:3%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－66》 新たな観光資源の開発と外国人誘客による、地域活性化の推進

＜成果の視点＞ 観光の魅力を高め、国内外からの観光者が訪れていること

〔主要な指標〕 外国からの来藤観光客数

《政策－67》 多様な地域資源を活かした、観光立市のまちづくりの推進

＜成果の視点＞ 観光を起点とした活気あるまちであること

〔主要な指標〕 観光案内件数（片瀬江の島観光案内所・藤沢駅前案内所 他）

事業名	誘客宣伝事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-66-1	地域分権区分					
事業内容	<p>広く観光客を集客するため、観光宣伝事業の実施、民間団体等が実施するイベントへの参画、観光ホームページの更新により、誘客宣伝事業を実施します。</p> <p>1 観光宣伝事業(観光親善大使事業、観光キャラバン事業、観光マップ各種作成等)</p> <p>2 観光イベントへの支援(湘南・江の島手づくりボートレース、新春江の島歴史散歩事業等)</p> <p>3 観光振興計画に掲げる新規及び拡充事業(湘南C-Xの活用促進の研究等)</p>					
活動指標	年間観光客数(海水浴客除く)					
目標値	現状値	963万人	3年後目標値	1,040万人	6年後目標値	1,070万人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、誘致活動や観光客の受入のおもてなし等を(社)藤沢市観光協会、民間事業者、地域団体等と連携して実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討・実施	→	実施	→	→	→
期待される事業の成果	観光資源の有効活用と地域の特性を活かした観光事業により魅力ある観光地へとつながり、観光客の増加による地域の活性化が図られます。また、各分野における専門団体等様々な主体による観光イベントへの支援により、効果的に観光客誘致が図られます。					
担当部課	経済部観光課					

事業名	外国人観光客誘致事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-66-2	地域分権区分					
事業内容	<p>中国、韓国をはじめ東南アジアなどの諸国を誘客重点地域として、様々なニーズを捉えた観光商品の開発・推進を図り、効果的な海外プロモーションを展開するとともに、外国語案内表記や観光客向け店舗の多言語化、観光ガイドの育成・活用等、受入体制の整備を行い、外国人観光客の誘致を図ります。</p> <p>1 外国人観光客の受入体制整備</p> <p>2 教育旅行誘致の促進</p> <p>3 外国人観光客の市場動向の把握</p> <p>4 市場特性に応じた観光プロモーションの展開</p>					
活動指標	外国人観光客数(年間)					
目標値	現状値	84,000人	3年後目標値	94,000人	6年後目標値	103,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、外国人観光客の誘致活動や受入のおもてなし等を(社)藤沢市観光協会、民間事業者、地域団体等と連携して実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討・実施	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	外国人観光客来訪者の現状分析や外国人旅行社との商談会など、有効な観光プロモーションの展開により外国人観光客数の増加や教育旅行誘致の促進が図られます。また、受入体制の充実により、来訪する外国人観光客が気軽に気持ちよく観光できるようになり、再来訪のきっかけとなり観光リピーターへとつながります。					
担当部課	経済部観光課					

事業名	広域観光圏推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-7-61-19-66-3	地域分権区分					
事業内容	<p>神奈川県及び県内観光都市(横浜市, 鎌倉市, 箱根町等)で構成する各協議会や県外観光都市など各自治体の特性を活かした広域連携を図ることにより, 圏域内の観光地を結ぶ周遊型商品の開発により相互の消費観光の促進を図ります。また, JR東日本等との連携による宣伝活動及び情報発信の広域での実施により観光客の誘致を図ります。</p> <p>1 広域での観光魅力づくりの推進 2 多様な主体と連携した宣伝活動の展開 3 鎌倉市との都市連携による新たな周遊型観光商品の開発</p>					
活動指標	一人当たりの平均消費額					
目標値	現状値	4,230円	3年後目標値	4,400円	6年後目標値	4,520円
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は, 周遊型商品開発や宣伝活動について近隣自治体, 民間事業者と協働, 連携して実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
期待される事業の成果	広域観光圏の推進により, 近隣自治体が一体となって事業を実施することで, 観光地において交通の拠点や通過拠点としての日帰り滞在だけでなく, 宿泊を伴う滞在型観光の促進が図られます。					
担当部課	経済部観光課					

事業名	湘南藤沢フィルム・コミッション事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-67-1	地域分権区分					
事業内容	<p>本市を舞台とする映画・ドラマ・CM等のロケ誘致に積極的に取り組むとともに, 市内全域におけるさらなる撮影環境の整備を図り, 観光地藤沢の情報発信及び撮影隊による直接的経済効果を図ります。</p> <p>1 本市が舞台となる映像作品制作の誘致 2 フィルム・コミッション(FC)フォーラムの開催やHPの充実による市民啓発の推進 3 FC事業から新たな観光振興及びシティセールスを図り, さらなる観光客誘致への促進</p>					
活動指標	間接的経済効果(年間)					
目標値	現状値	91億円	3年後目標値	100億円	6年後目標値	110億円
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は, (社)藤沢市観光協会との調整について役割を担います。また, 事業主体の(社)藤沢市観光協会が民間事業者及び市民等の協力を得て撮影環境整備の役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
期待される事業の成果	本市舞台の映像作品の誘致により, 観光地藤沢の情報発信をすることで観光誘客が図られます。また, 撮影隊による直接的経済効果が図られます。					
担当部課	経済部観光課					

事業名	観光施設整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-67-2	地域分権区分					
事業内容	<p>観光地における観光客の利便性の向上による誘客を図るために、観光等案内サインの充実や稚児ヶ淵レストハウス等の観光施設の整備及び維持管理を実施します。</p> <p>1 稚児ヶ淵レストハウス改築工事 2 江の島島内電源供給工事 3 中津宮広場トイレ整備事業 4 観光等案内サインの充実</p>					
活動指標	年間観光客数(海水浴客除く)					
目標値	現状値	963万人	3年後目標値	1,040万人	6年後目標値	1,070万人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、観光施設の整備及び維持管理を主体的に実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討・計画	計画・実施	実施	→		
期待される事業の成果	観光施設の整備及び維持管理を実施することで、観光地における観光客の利便性の向上及び市民サービスの向上による誘客が図られます。					
担当部課	経済部観光課					

事業名	通年型観光推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-67-3	地域分権区分					
事業内容	<p>観光客数の増加傾向を維持するために、四季折々の誘客イベントの実施、花、富士見スポット、農園・果樹園等の地域資源を活用した誘客事業や女性をターゲットとした観光プログラムを開発することで通年型の観光地化の推進を図ります。</p> <p>1 湘南江の島フェスティバル事業 2 北部観光事業 3 花火大会 4 観光振興計画に掲げる新規及び拡充事業</p>					
活動指標	新規・拡充事業の年間実施数(事業)					
目標値	現状値	2事業	3年後目標値	6事業	6年後目標値	6事業
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、イベントの検討や実施及びPRについて民間事業者、観光関係団体、観光協会等と連携して実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討・実施	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	秋・冬・春のシーズンにも誘客イベントを実施することで、四季を通じた観光客の誘致が図られ、通年型の観光地づくりの推進が図られます。					
担当部課	経済部観光課					

事業名	海上観光活性化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-7-61-19-67-4	地域分権区分					
事業内容	相模湾における海上交通を利用した新たな観光資源開発について、神奈川県や近隣都市などと連携を図り、葉山港・大磯港・湘南港・真鶴港を中心とする相模湾クルーズの実施や箱根町等との広域連携による観光振興を図ります。また、千葉市等との連携による東京湾クルーズなどの観光資源の開発を実施します。 1 東京湾・相模湾クルージング事業					
活動指標	海上観光ルート数					
目標値	現状値	1ルート	3年後目標値	2ルート	6年後目標値	3ルート
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、企画、広報等について近隣自治体や民間事業者と連携して実施し、事業実施については民間事業者が役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	----->			----->		
	検討	→	検討・実施	実施	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	都市間の相互交流での観光客誘致が図られます。クルージング事業の実施に伴い、地場産業を活用した事業展開に結びつけることで、地域の活性化が図られます。また、事業実施については、民間海上交通事業者が行うため民間力の活用が図られます。					
担当部課	経済部観光課					

事業名	観光拠点施設推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-67-5	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	湘南海岸における観光機能、休憩機能、情報発信機能、地域連携機能と付帯機能としてマリン・ビーチスポーツ機能を合わせもつ施設として、観光客の滞在時間の延長や消費行動に結びつける際の中心的役割を果たす観光拠点施設の推進を図ります。 1 観光拠点施設の整備、推進					
活動指標	観光拠点施設の整備進捗度					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	50%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、観光拠点施設の検討について鶴沼地区地域経営会議や企業等と連携することにより、それぞれの役割に応じた事業を実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	----->			----->		
	検討	→	→	計画	実施	→
(地域)	検討	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	市南部の観光拠点施設として、観光情報発信や地産地消等の地域連携機能を持つ施設の設置により、消費観光につなげることで地域の活性化が図られます。					
担当部課	経済部観光課					

事業名	湘南江の島魅力アップ事業				
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)			
3-7-61-19-67-6	地域分権区分				
事業内容	<p>本市の観光拠点である「湘南江の島」の魅力を高め、さらなる観光拠点としての充実を図るため、次の事業を実施します。</p> <p>1 片瀬江ノ島駅再整備の検討 2 湘南海岸から江の島までの交通システムの検討 3 県施設の建て替え事業との連携・誘導</p>				
活動指標	片瀬江ノ島駅再整備の方向性検討の進捗率				
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値
実績値	H23		H24		H25
役割期待	片瀬江ノ島駅再整備については、神奈川県・小田急と協議し、その方向性について検討します。				
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25		
(地域)	実施	→	→	→	
期待される事業の成果	市には、年間1,300万人以上の観光客が訪れていますが、その多くが「湘南江の島」を訪れており、今後さらに、外国人観光客の大幅な増加が見込まれる中、片瀬江ノ島駅再整備、江の島への新たな交通システムの整備促進等により対応を図ることで、「湘南江の島」の魅力がさらに高まることが期待されます。				
担当部課	計画建築部都市計画課				

都市ビジョン3 さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地等の公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新等、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市と茅ヶ崎市、寒川町は、1962年（昭和37年）から任意の協議会として「湘南広域都市行政協議会」を設立し、様々な活動を行ってきました。2009年（平成21年）には、常設事務局を設置し、協議会の運営体制について検討した結果、基盤強化を図るため、2010年（平成22年）4月に地方自治法252条の2の規定に基づく法定協議会として「湘南広域都市行政協議会」を設立しました。住民サービスの向上、地域の活性化、行政の効率化をめざし、積極的な活動を進めています。
- ② 神奈川県と平塚市、伊勢原市、秦野市、茅ヶ崎市、藤沢市、二宮町、大磯町、寒川町の5市3町は、広域での課題を調査研究し、また、解決の方法を探るため、湘南地区市町連絡協議会を設置し、活動しています。
- ③ 藤沢市は、市民サービスの向上や地域活性化などの特定の課題について、より効果的な解決を図るため、鎌倉市、綾瀬市、大和市、南足柄市等と連携した活動を行っています。



【戦略目標】

20 多様な主体が広域連携するまち

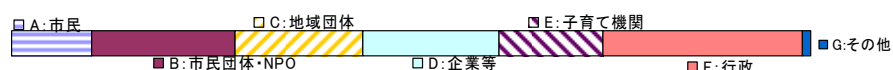
【成果指標】

① 近隣市町との連携と協力による広域行政運営の推進への満足度

【現状値】 ①15%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:10% B:18% C:16% D:17% E:13% F:25% G:1%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-68》 湘南広域都市行政協議会における広域行政の推進

＜成果の視点＞ 法定協議会の仕組みを通じた連携・協力によって、広域行政サービスや地域活性化につなげていくこと

〔主要な指標〕 湘南広域都市行政協議会の年間事業参加者数

《政策-69》 近隣市との都市連携の推進

＜成果の視点＞ 藤沢市と鎌倉市、綾瀬市、大和市、海老名市との都市連携を通じて、共通する行政課題を解決して、広域行政サービスや地域活性化につなげていくこと

〔主要な指標〕 広域行政課題の検討数

《政策-70》 市域を越えた活動主体間の連携の仕組みづくりの推進

＜成果の視点＞ 行政だけでなく、市民、市民ボランティア、NPO、大学、企業等が市域を越えて様々な連携をおこなうこと

〔主要な指標〕 藤沢市と南足柄市の市民交流事業参加者数

事業名	湘南広域都市行政推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-8-71-20-68-1	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町で構成する湘南広域都市行政協議会は、市町で連携して効率的かつ効果的な広域的市民サービスの向上や地域活性化を推進します。</p> <p>1 関係市町の市民サービスの向上に資する施策の立案・実施 2 地方分権の推進に関する調査研究 3 環境保全、就農支援、新産業の創出等地域活性化施策の推進</p>					
活動指標	2市1町による連携施策の数(年間)					
目標値	現状値	16施策	3年後目標値	18施策	6年後目標値	20施策
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	広域的な市町民ニーズに基づき、住民サービスの向上、地域の活性化、行政の合理化及び能率化につながる様々な施策の実現を図るため、新たな自治モデルとなる広域連携施策について検討を進めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	広域連携の成果として、幅広く住民サービスの向上が図られると同時に、行政の合理化、効率化が図られます。					
担当部課	経営企画部経営企画課					

事業名	パスポートセンター開設・運営事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-8-71-20-68-2	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町では、広域的市民サービスの向上や地域活性化を推進するため、一定規模以上の圏域に対して権限移譲が受けられる旅券事務について、広域連携により共同処理するパスポートセンターの湘南C-X・広域連携都市機能ゾーン内での開設・運営を進めます。</p> <p>1 旅券申請受付と審査(旅券作成と検査は神奈川県が実施) 2 旅券交付</p>					
活動指標	2市1町のパスポート取得希望者の新設パスポートセンター利用率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	95%	6年後目標値	97%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	2市1町が連携して、権限移譲に向けた県との連絡調整及び権限移譲を行い、パスポート発給業務を運営します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	広域連携の成果として、幅広く住民サービスの向上が図られると同時に、地域経済の活性化が図られます。					
担当部課	経営企画部経営企画課					

事業名	広域行政推進関係事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-8-71-20-69-1	地域分権区分					
事業内容	自治体個々では限界のある都市基盤，広域交通ネットワークやそれを活用した新産業の創出，経済，観光，緑地保全，防災等の共通する課題について，本市と大和市・綾瀬市・鎌倉市等の近隣市，神奈川県が連携して効率的かつ効果的な広域的市民サービスの向上や地域活性化を推進します。 1 広域行政課題の解決に向けた施策の立案・実施 2 広域行政等に係る調査研究					
活動指標	都市連携協定事業の数(累計)					
目標値	現状値	0事業	3年後目標値	1事業	6年後目標値	3事業
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は，近隣市との都市連携により，効果的・効率的に広域的なサービスを向上させるため，市民，地域と協働・連携しながら主体的に活動します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	----->		→			
	検討	→	実施	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	本市と近隣市，神奈川県が連携して効率的かつ効果的な広域的市民サービスの向上や地域活性化の推進が図られます。					
担当部課	経営企画部経営企画課					

事業名	中小企業勤労者福祉サービスセンター事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-8-71-20-69-2	地域分権区分					
事業内容	中小企業の福利厚生の向上と従業員の定着化に向け，(財)藤沢市産業振興財団を中心として，中小企業事業主と市が連携し，勤労者福祉サービスセンター事業(中小企業従業員等福利共済事業)を充実・発展させます。 神奈川県内の勤労者福祉共済実施自治体・団体等との連携を強化し共同事業の充実を図るとともに，勤労者福祉サービスセンター未設置の近隣市町との新たな連携により勤労者福祉サービスセンターの広域化を推進し，多様な連携を通じた勤労者向けサービスの向上を図ります。 1 勤労者福祉サービスセンター事業の充実・発展 2 勤労者福祉サービスセンターの広域化					
活動指標	勤労者福祉サービスセンターの会員数					
目標値	現状値	7,100人	3年後目標値	9,000人	6年後目標値	10,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	(財)藤沢市産業振興財団が中小企業勤労者福祉サービスセンター事業を運営します。中小企業事業主は会費を負担し，市は管理的経費に対する助成，神奈川県・近隣市町との連携の推進などの役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→					
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	中小企業が独自に行うことが難しい福利共済事業を充実することにより，中小企業勤労者の福祉の向上，従業員の定着化，中小企業の経営安定が図られます。					
担当部課	経済部産業振興課					

事業名	多様な主体による広域連携推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-8-71-20-70-1	地域分権区分					
事業内容	<p>広域交通ネットワークや経済、観光等の課題について、県内の市町村との広域連携によって広域的市民サービス機能の向上や都市間交流を推進します。</p> <p>1 南足柄市の旧北足柄中学校を活用した学習体験交流 2 本市の遊行の盆と南足柄市の金太郎祭への相互参加などを踏まえた文化・市民交流 3 新たな都市連携施策の検討、調査</p>					
活動指標	他市町との連携施策の数(累計)					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	1件	6年後目標値	5件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>市は学習体験交流の調査研究を行い、関係機関との調整をする役割を担います。また、実施に当たっては、市民との協働により、市民交流の場としての役割も機能するように主体的に活動します。</p>					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	<p>学習体験交流を行うことにより、県内郷土の愛着心を育み、親子自然体験や学習体験が図られます。祭、イベント等への相互参加を図ることにより、市民レベルでの文化交流が促進されます。</p>					
担当部課	経営企画部経営企画課					

ふじさわ未来課題

67 移動や利用に当たり、誰でも利用できる道路や施設であること

～まちづくり情報～

- ① 国土交通省では、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、今後、身体的状況、年齢、国籍等を問わず、可能な限りすべての人が、人格と個性を尊重され、自由に社会に参画し、いきいきと安全で豊かに暮らせるよう、生活環境や連続した移動環境をハード・ソフトの両面から継続して整備・改善していくという理念に基づき、2005年（平成17年）に「ユニバーサルデザイン政策大綱」を策定しています。
- ② 藤沢市では、2002年（平成14年）に「藤沢市交通バリアフリー化基本構想」を定め、重点整備地区の特定経路から順次バリアフリー化の整備を進めています。



【戦略目標】

2.1 誰にでも優しいユニバーサルデザインのまち

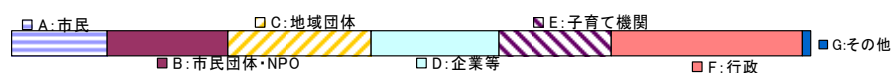
【成果指標】

① 市のバリアフリー化ができていると感じる人の割合

【現状値】 ①21%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:12% B:15% C:18% D:16% E:14% F:24% G:1%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-71》 人と環境にやさしい都市空間の構築

＜成果の視点＞ 環境に配慮がなされているが、利便性を損なわないまちであること

〔主要な指標〕 公園愛護会の数・参加人数

《政策-72》 公共交通のユニバーサルデザインの推進

＜成果の視点＞ 誰でも不安や困難のない公共交通であること

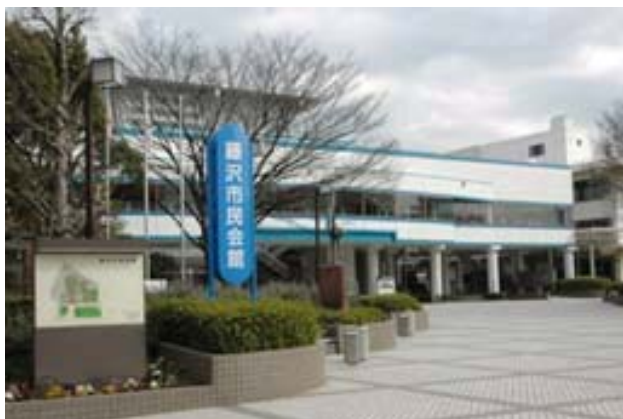
〔主要な指標〕 市のバリアフリー化ができていると感じる人の割合（60歳代～）

事業名	自転車対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-67-21-71-1	地域分権区分					
事業内容	<p>駅周辺の自転車等駐車場の確保やバイクシェアリング事業との連携及び街頭指導・撤去等の放置防止対策を行い、良好な駐輪環境、駅周辺環境を確保します。</p> <p>1 藤沢駅周辺を中心とした放置防止や駐輪施設の確保 2 民間活力を導入した駐輪場整備に対する助成 3 自転車等駐車場のバイクシェアリングステーションとしての活用検討 4 駅前広場や道路の放置自転車等の対策(街頭指導、撤去、保管、返還、処分等) 5 市営駐輪場の「藤沢市防犯ガイドライン」に沿った安全確保及び運営に対する管理・指導</p>					
活動指標	駐輪場 収容台数(自転車・バイク)					
目標値	現状値	18,854台	3年後目標値	18,950台	6年後目標値	19,350台
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	鉄道事業者や商店会等が顧客等の駐輪場を確保することは、顧客に対するサービスの提供とともに施設設置者の責務でもあることから、役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	駅周辺の自転車等駐車場の確保及び街頭指導・撤去等の放置防止対策等を行うことで、放置台数の減少、良好な環境の確保、駅利用者の利便性向上、自転車利用の促進等が図られます。					
担当部課	土木部土木維持課					

事業名	鉄道駅エレベーター設置事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-8-67-21-72-1	地域分権区分					
事業内容	<p>人にやさしい社会づくりの推進を図るため、鉄道駅へのエレベーター設置を推進します。国の運用方針に基づき、対象となる駅すべてにエレベーターを設置していますが、運用方針の変更に伴い新たに対象となった湘南モノレール湘南江の島駅について、エレベーター設置を検討し、支援を行います。</p> <p>1 鉄道駅エレベーター設置に対する支援</p>					
活動指標	市内のエレベーター設置駅数					
目標値	現状値	8駅	3年後目標値	9駅	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、障がいがある人が安全で安心して湘南モノレール湘南江の島駅を利用できるよう、事業者と連携しエレベーターの設置を検討、実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討・計画	→	実施			
期待される事業の成果	エレベーターを設置することにより、障がいのある人や高齢者等が安全・安心に乗降できるようになり、障がいのある人や高齢者等の社会参加の推進が図られます。					
担当部課	保健福祉部障がい福祉課(2011年(平成23年)4月からの課の名称となります。)					

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では、NPM（ニュー・パブリック・マネジメント＝新たな公共経営）の考え方を施設マネジメントの基本に置きながら、本市施設の現状を積極的に公開するとともに、今後の公共施設のあり方について幅広い議論を進めることが重要と考え、その基礎的な資料となる「公共施設マネジメント白書」を作成しました。
- ② 藤沢市が保有する公共施設約 78.4 万㎡（小・中学校、市民センター、公民館、図書館、市民の家、保育園、湘南台文化センター、市民会館、市庁舎、児童館、地域子供の家等）の約 57%の約 44.6 万㎡が旧耐震基準で建設され、全体の約 54%の約 42 万㎡が建設から 20～39 年が経過しています。さらに、一般に建築物の寿命とされる築 30 年以上の施設は全体の 52.3%の約 41 万㎡であり、老朽化施設が全体の半数以上を占めています。



【戦略目標】

2.2 未来に引き継ぐ公有財産と社会資本を有効活用するまち

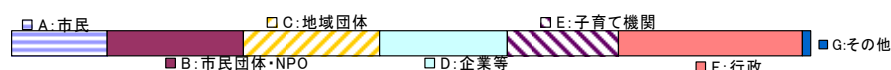
【成果指標】

①次世代に社会資本が適正な状態で引き継げると思う市民の割合

【現状値】 ①13%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:12% B:17% C:17% D:16% E:14% F:23% G:1%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-73》 都市基盤施設の長寿命化対策の推進

＜成果の視点＞ 都市インフラの質は維持されながら、安定して使い続けられること

〔主要な指標〕 次世代に社会資本が適正な状態で引き継げると思う市民の割合（60歳代～）

《政策-74》 公共資産の有効活用の推進

＜成果の視点＞ 土地や建物等の公共資産が、公民連携により有効に活用されるなど、長期安定的な財源確保が追及されていること。特に施設については、利用率や必要性を十分検討のうえ、維持・廃止・統合等について方針が示されていること

〔主要な指標〕 再整備に当たっての有効活用が検討されている施設数

《政策-75》 公共施設の長寿命化と再構築の推進

＜成果の視点＞ 公共施設によるサービスが、安定して提供されていること

〔主要な指標〕 公共施設の機能停止による重大なサービスの停止期間

《政策-76》 学校教育施設の有効活用の推進

＜成果の視点＞ 学校教育施設が有効に活用され、地域の暮らしやすさにつながること

〔主要な指標〕 学校教育施設の有効活用数

事業名	公園長寿命化改修事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-73-1	地域分権区分						
事業内容	公園・緑地の施設を市民に安心して、安全に利用してもらうため、施設を点検調査するとともに、計画的な維持管理を図るための公園施設長寿命化計画を策定し、順次既存施設の長寿命化を図ります。 また、防犯ガイドラインを踏まえ、老朽化に伴う施設の改築・更新とバリアフリー化を実施し、より一層魅力的な、誰にでもやさしい公園として利用の促進を図ります。 1 公園施設長寿命化計画の策定 2 大規模施設修繕工事の実施 3 公園リニューアル工事の実施 4 遊具保守点検及び遊具塗装等修繕工事の実施						
	活動指標	公園施設の改修率					
	目標値	現状値	25.3%	3年後目標値	44.3%	6年後目標値	62.0%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	公園の改修時には、整備内容について地域住民(公園利用者・地域市民公園愛護会)の意見を地域主体で取りまとめるなどして、地域のニーズにあわせた公園の再整備を進めます。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	より多くの市民が安全・安心に利用することが可能となり、公園が地域のふれあい、憩いの場として有効活用が図られます。 また、公園利用者が増え、公園に対する親しみ、愛着を持ってもらうことで、公園愛護会活動への参加が促進されます。						
担当部課	まちづくり推進部まちづくりみどり推進課						

事業名	下水道施設再生事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-73-2	地域分権区分						
事業内容	健全な下水道事業経営を図るとともに、下水道施策として環境保全を進めるため、「湘南ふじさわ下水道ビジョン」に基づき、下水道施設の計画的な修繕・改築等の長寿命化対策事業を実施し、効率的かつ効果的な施設再生を推進します。 1 下水道施設の長寿命化計画策定及び長寿命化対策(修繕・改築)事業の実施 2 浄化センター・ポンプ場における高効率・省エネルギー型機器の導入、新エネルギー導入等の検討						
	活動指標	長寿命化対策設備数(累計)					
	目標値	現状値	0設備	3年後目標値	6設備	6年後目標値	33設備
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、「湘南ふじさわ下水道ビジョン」に基づき、下水道施設の計画的な修繕・改築等の長寿命化対策事業を実施します。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	計画的な下水道施設再生を進めることにより、下水処理に伴う都市機能の維持並びに資源・エネルギー循環の推進が図られます。						
担当部課	土木部土木経営課・土木維持課・下水道施設課						

事業名	橋りょう長寿命化推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-73-3	地域分権区分					
事業内容	<p>耐用年数が集中して到来する橋りょうの架け替えによる財政支出を抑制するため、橋梁長寿命化計画に基づき予防保全的な維持管理を展開し、事業費の平準化を図ります。</p> <p>また、橋りょうの耐震性向上を図るため、緊急輸送路及び避難路に関する橋りょうと、利用者が多い藤沢駅ペDESTリアンデッキを対象として、耐震化工事を実施します。</p> <p>1 橋りょうの長寿命化を図るため、修繕計画を策定し点検と予防保全的な修繕工事の実施</p> <p>2 橋りょうの耐震対策を図るため、耐震補強と落橋防止装置の設置</p>					
活動指標	①橋りょう長寿命化点検橋数(累計) ②橋りょう耐震対策済橋数(累計)					
目標値	現状値	①98橋②18橋	3年後目標値	①189橋②20橋	6年後目標値	①189橋②26橋
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、道路管理者として、計画的な整備を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	橋りょうの長寿命化により事業費の平準化が図られるとともに、橋りょうの耐震性の向上により震災時における市民の生命が守られ、震災被害を最小限にとどめることに寄与します。					
担当部課	土木部土木維持課					

事業名	引地川水系橋りょう架替事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-8-69-22-73-4	地域分権区分					
事業内容	<p>神奈川県による引地川及び蓼川の総合治水対策特定河川事業に伴う橋りょうの架替事業として、県、大和市、綾瀬市との広域連携で取り組みます。</p> <p>河川改修事業の中で架替を実施することで橋りょうの長寿命化・架替費用の分散化を図るとともに、計画道路の幅員にあわせた橋りょうの拡幅を行い、車両交通の円滑化と歩行者の安全性を確保します。</p> <p>事業化の時期については、神奈川県との河川改修計画の進捗にあわせて進めます。</p> <p>1 神奈川県との協議</p> <p>2 関係機関(大和市、綾瀬市)との協議</p> <p>3 架替工事施工</p>					
活動指標	橋りょうの架替工事進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	43%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、神奈川県、大和市、綾瀬市との協議を行い、架替工事を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	河川改修事業の中で架替を実施することにより、橋りょうの更新と架替費用の分散化が図られます。 <p>また、神奈川県施工の引地川河川改修事業の進捗にあわせ、改修計画に整合した橋りょう架替を行うことで水害対策の向上が図られます。</p>					
担当部課	土木部土木維持課					

事業名	都市基盤施設一括維持管理手法研究事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-73-5	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>都市基盤施設(道路・橋りょう・公園等)の維持管理は、各所管部署(土木維持課・まちづくりみどり推進課・市民センター・公民館)でパトロール、点検、清掃、修繕、剪定等を行っており、これらの維持管理業務を、公民連携により効率的に実施することをめざし、そのための手法を研究します。</p> <p>1 各所管部署の既存業務の整理 2 一括維持管理手法の課題整理 3 一括維持管理手法の方向性の検討</p>					
活動指標	都市基盤施設一括維持管理手法研究の進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	-
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、公民連携による都市基盤施設一括維持管理手法の研究を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→			
(地域)	実施	→	→			
期待される事業の成果	道路・橋りょう・公園等の公民連携による一括維持管理手法の導入によって、都市基盤施設の効率的な維持管理やトータルコストの縮減が図られます。					
担当部課	土木部土木維持課、まちづくり推進部まちづくりみどり推進課					

事業名	公共資産有効活用推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-8-69-22-74-1	地域分権区分					
事業内容	<p>市が保有する土地面積約404.7万㎡、建物延べ床面積約78.4万㎡の公共資産について、さらなる市民サービスの向上や有効活用することによる財政への寄与をめざし、施設の利用目的・利用率・利用状況を精査し有効活用の検討を行います。</p> <p>また、適切な維持管理と資産の有効活用策を構築するため、資産台帳整備の検討を行います。</p> <p>1 公共施設の有効活用の推進 2 資産台帳の整備</p>					
活動指標	資産の有効活用検討件数(累計)					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	3件	6年後目標値	5件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、有効活用策の方法として公募による民間からのアイデア提案により、民間の資金とノウハウを活用し、公共資産の有効活用を促進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討・実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	財産の把握と適切な維持管理、換価を含めた資産の有効活用の促進が図られ、また資産台帳システムの導入整備による資産の有効活用策の迅速な調査・検討が推進されます。					
担当部課	経営企画部資産経営課					

事業名	公共建築物の長寿命化と利活用の推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-8-69-22-75-1	地域分権区分					
事業内容	<p>「公共施設マネジメント白書」を改訂し、広く市民に情報提供し、施設の有効利用を推進するための事業啓発をするとともに老朽化した施設については、公民連携提案制度により計画的な整備を実施します。</p> <p>また、公共建築物の長寿命化をめざして、維持保全をより計画的に行うため、紙台帳のシステム化を行い、維持保全費の支出の平準化に取り組みます。</p> <p>1 老朽化した施設の公民連携提案制度による計画的な整備の実施 2 維持保全台帳のシステム化</p>					
活動指標	維持保全事業実施施設進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	15%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、公共施設マネジメント白書を活用した機能更新や再編について、地域経営会議や民間の資金とノウハウを活用した公民連携を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討・実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	2008年度(平成20年度)に発行した白書の改訂により施設の利用実態等を市民に情報提供し、施設のあり方を市民の目線で検討できる資料として使用が可能となるとともに、施設の維持修繕費の平準化と予防保全による修繕費の縮減が図られます。					
担当部課	経営企画部資産経営課					

事業名	市庁舎等公共施設再整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-8-69-22-75-2	地域分権区分					
事業内容	<p>市庁舎エリア、市民会館エリア及び湘南C-X C-1街区の3つの土地を活用し、庁舎、市民会館及び南市民図書館等の再整備に向けて民間事業者からのアイデア提案を募集するなど、公共施設を再構築していきます。</p> <p>さらに、公共施設整備や藤沢駅周辺地区再整備などの諸課題については、庁内に設置した、「藤沢市公共施設再整備等推進本部会議」により、全庁的な様々な課題に対し総合調整を図りながら、整備計画の推進を図ります。</p> <p>1 庁舎、市民会館及び南市民図書館等の再整備に向けた民間事業者からのアイデア提案募集要綱の整備 2 「藤沢市公共施設再整備等推進本部会議」を活用とした課題の検討</p>					
活動指標	庁舎等の建設の進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	80%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、市庁舎等の再整備に対し、敷地活用等について公募により民間からアイデアを募り、民間の資金とノウハウの活用や、公共施設の余剰床面積への民間施設の導入等を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	老朽化、耐震性能の低下による市庁舎を建て替えることにより、中枢指令機能を大規模災害発生時にも機能させるとともに、多様な市民ニーズに応えるための施設整備の実施が図られます。					
担当部課	経営企画部資産経営課					

事業名	元藤沢北高等学校敷地の利活用推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-75-3	地域分権区分					
事業内容	<p>元藤沢北高等学校敷地の利活用を推進していきます。</p> <p>現在、校舎棟がある市街化部分と市街化調整区域の一部については、土地の有効活用を図ります。特に、市街化区域(第一種低層住居専用地域)約13,000㎡については、市民の要望・提案を踏まえ有効活用の検討を行い、総合計画に基づき資産の利活用の具体化を図っていきます。</p> <p>1 市民の要望・提案を踏まえた敷地の利用計画の検討・作成</p>					
活動指標	換価を含めた土地の有効活用					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	90%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	敷地の有効利用または活用について、住民自らの検討によりその方策を導き出すことが期待されます。市は、その方策を踏まえて利用計画を検討・作成します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	→	→	実施	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	消防防災訓練センターが整備されることで、市の防災機能が強化がされ、それ以外の敷地について有効活用を図ることにより敷地全体の利用が確定されます。					
担当部課	経営企画部資産経営課					

事業名	藤沢都心部地区等の公共施設再構築推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-8-69-22-75-4	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢都心部地区に市が所有する土地面積は、約4.4万㎡あり、老朽化・機能更新時期を迎えた建物の再整備とあわせて、エリア内の資産の有効活用を図ります。また、市が民間ビルを賃貸している床面積が約4千㎡あり、公共施設再構築の中で集約を図ります。</p> <p>1 中長期の推進計画の中でエリア内の土地活用を含めたスクラップ・アンド・ビルドの実施(藤沢公民館、村岡公民館、労働会館、シルバー人材センター、元藤が岡寮、保育園等)</p>					
活動指標	再整備検討件数(累計)					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	2件	6年後目標値	4件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、老朽化により機能更新を迎える施設の再整備において、公民連携による事業の推進を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	→	→	実施	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	民間の資金とノウハウを活かした公民連携提案制度を活用し、財政支出の平準化が図られるとともに、施設の統廃合に向けた整備が推進されます。					
担当部課	経営企画部資産経営課					

事業名		市民センター改築事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業					
3-8-69-22-75-5	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)					
事業内容	利用実態や老朽化、機能更新の時期及び地域分権を実現するための拠点施設としてのあり方等を踏まえ、計画的に市民センター等の改築等を行います。 改築等に当たっては、公共資産の有効活用と公民連携の視点に立って整備を進めます。						
	1 六会市民センターの改築 2 石川分館の機能強化に向けた整備 3 善行市民センターの改築 4 遠藤市民センター青少年ホールの改築 5 辻堂市民センターの改築 6 鶴沼市民センター分館設置の検討						
	活動指標	改築等を行った施設数(累計)					
	目標値	現状値	0件	3年後目標値	1件	6年後目標値	3件
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議は、市民センター・公民館と連携する中で、地域コミュニティ施設の有効活用の視点に立った検討等を行い、市は、民間事業者のノウハウや資金等を活用しながら施設整備を行います。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	----->	----->					
	検討	実施	→	→	→	→	
(地域)	検討	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	地域経営会議と市民センター・公民館が連携し、公共施設等の利用実態や老朽化、機能更新の時期及び地域分権を実現するための拠点施設としてのあり方等の検討を踏まえ、計画的な市民センター等の改築等を行うことにより、地域主体のまちづくりが推進されるとともに、公共資産の有効活用が図られます。						
担当部課	市民自治部市民自治推進課						

事業名		大庭台墓園立体墓地整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-75-6	地域分権区分						
事業内容	市民の墓地需要に対応するため、大庭台墓園立体墓地納骨壇の増設工事を行います。 1 大庭台墓園立体墓地納骨壇増設工事(地下2階 1,847区画)						
	活動指標	立体墓地納骨壇整備数					
	目標値	現状値	2,853基	3年後目標値	4,700基	6年後目標値	—
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、未整備となっている立体墓地地下2階の納骨壇の整備を行い、墓地を持たない市民の墓地需要への対応を図ります。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	----->	----->					
	計画	実施					
(地域)							
期待される事業の成果	立体墓地の納骨壇の整備を行い将来にわたり墓地の貸付を可能とすることにより、市民の墓地需要に応えることができます。						
担当部課	保健福祉部保健医療福祉課						

事業名		最終処分場整備事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(全市)			
3-8-69-22-75-7		地域分権区分					
事業内容		<p>「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「藤沢市環境基本計画」に基づき、廃棄物の適正な処理を行うため、浸出水処理施設の機器等の修繕や機能更新工事及びのり面保護等工事を実施します。</p> <p>また、地域と協働して最終処分場の上部利用の検討を進めます。</p> <p>1 浸出水処理施設の機器等の修繕，更新工事及びのり面保護等工事の実施</p> <p>2 最終処分場の上部利用の検討</p>					
活動指標		残余容量の確保及び適正な維持管理率					
目標値		現状値	70%	3年後目標値	70%	6年後目標値	80%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市は、最終処分場廃止までの適正な維持管理と、市民の上部利用等将来計画を含めた整備を推進する役割を担います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)							
期待される事業の成果		最終処分場の機器を整備することにより、施設の機能を維持し、浸出水等を適正に処理することができ、環境汚染の防止及び市民の安全・安心を確保が図られます。また、地域の実情に応じた最終処分場の上部利用が図られます。					
担当部課		環境部資源廃棄物対策課					

事業名		消防署所改築整備事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(全市)			
3-8-69-22-75-8		地域分権区分					
事業内容		<p>災害拠点施設の充実強化を目的とした老朽化の進む既存庁舎の改築整備について、効率的に計画の推進を図ります。</p> <p>また、事業の必要性や優先順位などを精査するとともに、整備手法にあってもPFI事業や公民連携提案事業制度の検討を視野に入れ、効果的に消防体制を構築します。</p> <p>1 本町出張所改築整備</p> <p>2 荇田出張所改築整備</p>					
活動指標		消防庁舎整備計画に基づく整備率					
目標値		現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	25%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市が主体となって、市民の安全・安心を確保するため、消防体制の充実強化を目的とした施設整備を担います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)							
期待される事業の成果		災害拠点施設として位置づけられる消防署所の整備を推進することにより、初動体制の確保及び市内全域における消防体制の機能強化が図られます。					
担当部課		消防本部消防総務課					

事業名	学校施設長寿命化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-75-9	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>学校施設の老朽化が進行するなか、建築物以外で老朽化している設備について、建築年数を考慮したうえで、計画的な更新を図り、学校施設の長寿命化をめざします。</p> <p>1 小・中・特別支援学校エレベータ改修整備事業 2 小・中・特別支援学校給排水設備改修整備事業 3 小・中・特別支援学校放送設備改修整備事業 4 小・中・特別支援学校プール改修整備事業</p>					
活動指標	改修実施校数(累計)					
目標値	現状値	0校	3年後目標値	23校	6年後目標値	43校
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、義務教育諸学校の設置者として、学校施設の設備整備を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施		→	→	→	→	→
期待される事業の成果	施設を整備することで、将来を担う子どもたちに安全で良好な教育環境の提供が図られます。					
担当部課	教育総務部学校施設課					

事業名	藤沢公民館改築事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-8-69-22-75-10	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)				
事業内容	<p>藤沢地区における市民の地域活動、学習文化活動及び防災等の拠点として1964年(昭和39年)に建築され老朽化が著しい藤沢公民館の改築を、2011年度(平成23年度)に検討し、2012年度(平成24年度)から事業を実施します。</p> <p>1 県立藤沢高校跡地利用の検討 2 地域経営会議において、地域の意見・要望等を集約 3 市民センター化も含めた複合施設としての機能を備えた施設整備の検討 4 公有資産としての有効活用を視野に入れた整備内容の検討</p>					
活動指標	整備状況進捗度					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	40%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>地域経営会議等の市民(地域)団体と公民館が連携して、地域コミュニティ施設の有効活用の視点に立った改築事業の検討が行われることが期待されます。</p> <p>改築手法については、民間事業者のノウハウや資金等を活用した施設整備が期待されます。</p>					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
検討		実施	→	→		
提案	→					
期待される事業の成果	駐車場の完備、バリアフリー化等、利用者にとって利便性が図られ、市民サービス向上につながるるとともに、災害時に地域防災拠点としてより適した施設となります。また、地域経営会議と連携し、地域特性や要望等を踏まえて検討を行うことにより、地域主体のまちづくりが推進され、公共資産の有効活用が図られます。					
担当部課	生涯学習部藤沢公民館					

事業名		村岡公民館改築事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業					
3-8-69-22-75-11	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)					
事業内容	<p>村岡地区における市民の地域活動、学習文化活動及び防災等の拠点として、多様化する行政サービスの身近な窓口や高齢者、子育て支援に対応した機能の併設も含め、1966年(昭和41年)に建築され老朽化が著しい村岡公民館の改築を、2011年度(平成23年度)に検討し、2012年度(平成24年度)から事業を実施します。</p> <p>1 村岡地区まちづくり計画との調整 2 地域経営会議をはじめ地域団体等地域の意見・要望等の集約 3 市民センター化を含めた複合施設としての機能を備えた施設整備の検討 4 公有財産としての有効活用を視野に入れた整備内容の検討</p>						
活動指標	整備状況進捗度						
目標値	現状値	0%	3年後目標値	40%	6年後目標値	100%	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	<p>地域経営会議等の市民(地域)団体と公民館が連携して、地域コミュニティ施設の有効活用の視点に立った改築事業の検討等が行われることが期待されます。</p> <p>改築手法については、民間事業者のノウハウや資金等を活用した施設整備が期待されます。</p>						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→			
(地域)	検討・提案						
期待される事業の成果	<p>駐車場の完備、バリアフリー化など利用者にとって利便性が図られ、市民サービス向上につながるるとともに、安心安全な施設提供ができ、災害時に地域防災拠点としてより適した施設となります。また、地域経営会議と連携し、地域特性や要望等を踏まえて検討を行うことにより、地域主体のまちづくりが推進され、公共資産の有効活用が図られます。</p>						
担当部課	生涯学習部村岡公民館						

事業名		学校教育施設の有効活用推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-76-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>学校は、児童生徒が「生きる力」を育むために安心して学習できる教育環境であるとともに、地域の生涯スポーツ・地域コミュニティの拠点としての役割も求められています。このため、地域に開かれた学校づくりが重要であり、その一つとして学校等教育施設の有効活用についての検討を進めます。</p> <p>1 現行の利用方法の見直し 2 新たな活用方法の検討</p>						
活動指標	活用可能な普通教室を有効活用している学校の割合						
目標値	現状値	66%	3年後目標値	70%	6年後目標値	100%	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	<p>市は、地域に開かれた学校づくりを積極的に進めていく役割を担い、地域・市民には、市と協働・連携して学校教育施設の運営を担うことが期待されます。</p>						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25				
	検討	→	→				
(地域)	検討						
期待される事業の成果	<p>学校教育施設の有効活用について、課題を洗い出し、具体的な活用方法を検討することにより、学校が地域コミュニティの拠点施設としての活用が図られます。</p>						
担当部課	教育総務部教育総務課						

都市ビジョン3
さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力等の地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流等を通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげていくことをめざします。

ふじさわ未来課題

76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市には、国登録有形文化財が3件、国指定文化財が9件、県指定文化財が14件、市指定文化財が67件あります。
- ② 藤沢市では、考古資料約21,200点、民俗資料約7,170点、歴史資料約2,630点等を保管しています。
- ③ 市内13地区では、毎年公民館まつりが行われ、約12万人の市民が参加しています。地域で市民と文化が交流し、楽しむイベントとして愛され続けています。
- ④ 毎年開催している市民まつりも37回を数え、約18万人の市民が来場しています。また、湘南台ファンタジアも12回開催されています。



【戦略目標】

23 地域の伝統や文化を継承，多様なライフスタイルが生まれるまち

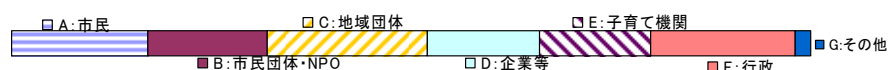
【成果指標】

① 伝統行事への参加割合

【現状値】 ①39%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①56%

【役割の担い手】 ①A:17% B:15% C:20% D:14% E:14% F:18% G:2%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-77》 歴史・文化財の保存・継承活動の推進

＜成果の視点＞ 歴史，文化財等が保存され，次世代に引き継がれること

〔主要な指標〕 保存民家復原計画の策定件数と文化財建物のネットワーク件数

《政策-78》 伝統文化の保存・継承活動の推進

＜成果の視点＞ 伝統文化が保存され，次世代に引き継がれること

〔主要な指標〕 整備された映像資料の件数

《政策-79》 地域の市民文化活動の支援

＜成果の視点＞ 地域で市民文化活動が継承・発展・創造されていること

〔主要な指標〕 史跡等の指定や整備の進捗状況

事業名	保存民家復原公開事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-77-1	地域分権区分					
事業内容	<p>博物館資料として保管している広文堂店蔵、下土棚農家、江の島漁師の家、村岡の土蔵の4軒の解体保存建物の移築復原を順次実施します。これらの建物は、東海道沿いの商家、市域北部の農家、江の島の漁師(大海士)を活用し、民家園を構成して公開活用を図り、市民利用に供します。</p> <p>1 復原に当たっては、建物の文化財的価値を損なわないようにしたうえで、地域の要望を踏まえながら、伝統的な行事や生活文化を体験できる体験学習施設として整備</p> <p>2 市内に点在する文化財建物を市民団体等による管理に委ね、回遊性を持った歴史ふれあいルートでネットワーク化し、公開活用</p>					
活動指標	復原計画の策定件数					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	0件	6年後目標値	2件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地域や市民からの学習要望に応えた保存民家の活用方法を把握し、復原整備を担います。市民団体等には、市内に点在する文化財建物の管理を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	計画	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	復原された建物を市民の利用に供し、文化財建物をネットワーク化することで、より多くの体験学習の機会を提供することが図られます。					
担当部課	生涯学習部生涯学習課					

事業名	歴史・文化財資料公開活用事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-77-2	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢市の歴史・文化に関する調査研究の成果や市民の共有財産である歴史・文化財資料等、地域文化資料を広く市民等に公開し、利活用を図ります。</p> <p>1 寄贈美術・工芸作品等の保管・公開</p> <p>2 公民館・図書館等の地域施設における展示事業の実施</p> <p>3 収蔵資料目録の整備・公開と市民等への提供</p> <p>4 展示会の成果を再活用できるよう展示図録の作成と内容の充実</p> <p>5 学校等における博物館講座の実施</p>					
活動指標	展示会開催延べ日数(年間)					
目標値	現状値	230日	3年後目標値	300日	6年後目標値	400日
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地域や市民からの学習要望に応え、保有する文化資産を保存、継承、公開します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	展示会開催等により、地域の歴史文化に対する理解を深め、郷土愛の醸成が図られます。					
担当部課	生涯学習部生涯学習課					

事業名	映像資料整備公開事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-78-1	地域分権区分					
事業内容	<p>保有する映像資料を劣化から救うため、新たなメディアに保存するなど整備を進め、次世代へ映像資産を引き継ぎます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 フィルムの点検・清掃・修復 2 修復済みフィルムのデジタル化・映像補正, フィルム(保存用)・DVD(公開用)作成 3 修復が完了したフィルムを利用した, 市民との協働による上映会の開催 4 市民団体等との協働による, 市内に所在する映像資料の調査, 収集, 公開 5 映像により記録保存すべき対象を検討し, 記録映画等を制作して地域文化を継承 					
活動指標	整備された映像資料の本数(累計)					
目標値	現状値	0本	3年後目標値	4本	6年後目標値	10本
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は, 映像メディアを適正に保管し, 修復を施し, 市民に公開します。また, 市民との協働により映像記録を調査・収集し, 保存・活用を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	計画	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	保有する映像資料を新たなメディアに保存することで劣化から救い, 次世代へ引き継ぐとともに, 復原された鮮やかな映像によって, 地域社会の記憶が再生され, 地域文化の継承が図られます。また, 市民との協働によって映像記録の収集・公開を行うことで, 市民の生涯学習の向上が図られます。					
担当部課	生涯学習部生涯学習課					

事業名	市指定史跡耕余塾の跡整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-79-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>明治地区にある藤沢市指定史跡「耕余塾の跡」を整備し, 安全かつ適切に管理し, 歴史の継承と郷土愛の育成を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 外周フェンスの設置 2 石碑の移設及び敷地内整備 3 敷地入り口の門の設置 4 整備後の明治地区地区別まちづくり実施計画での活用 					
活動指標	整備に係る進捗率					
目標値	現状値	20%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は, 市指定史跡である「耕余塾の跡」の史跡整備を担います。整備事業計画に地域の方々々が参画することにより, 地域の要望を具現化し地域との協働が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	「耕余塾の跡」に近接したところには「旧三觜八郎右衛門家住宅」が残り, 地域の方々の協力により公開されています。本市が誇る史跡, ゆかりの深い歴史的建物等の豊かな地域資源を次世代へと継承・発展させていくことで, 郷土愛の育成が図られます。					
担当部課	生涯学習部生涯学習課					

事業名	江の島歴史遺産保存整備活用事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-79-2	地域分権区分					
事業内容	<p>サムエル・コッキングやエドワード・モースに代表される、江の島に遺存する歴史的資産を適正に保存・活用することで、史跡としての江の島の文化財的価値の維持・向上を図るとともに、観光資源としても活用できるよう整備します。</p> <p>1 コッキング温室遺構の国指定史跡化 2 戦争遺跡の調査、整備・活用</p>					
活動指標	整備に係る進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	10%	6年後目標値	50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は遺構の文化財的価値の調査、文化財指定・登録、保存活用計画策定を担います。事業検討に地域住民や関係機関が参画することで、地域要望を具現化し地域との協働が期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	計画	実施	→	→	→
期待される事業の成果	文化財的価値についての評価を得ることで、文化の薫る観光地としての価値が加わり、今後の歴史・文化の継承や地域の特性を活かした文化の発展が図られます。					
担当部課	生涯学習部生涯学習課					

ふじさわ未来課題

81 地域の記憶や文化が継承され、発展すること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では、「藤沢市展」「藤沢音楽祭」「ロビーコンサート」等を開催しています。
- ② 「藤沢市民オペラ」は、優れた芸術の普及と地域に根ざした市民文化の創造を目的に市民参加の自主事業として過去 20 回以上の公演を行っています。
- ③ 学生・地域住民・商店街・企業・行政等が協力して、イルミネーション・ツリーの装飾やイベントの開催を通じて、湘南台の冬を演出する「イルミネーション湘南台」も地域の風物詩となっています。



【戦略目標】

24 市民一人ひとりが豊かな心を育む文化に触れ合う交流発信のまち

【成果指標】

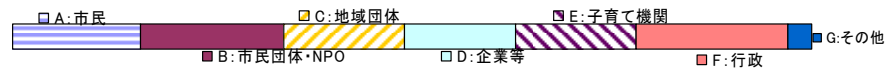
① 市域に文化があふれていると感じている市民の割合

② 市民による芸術文化活動の充実

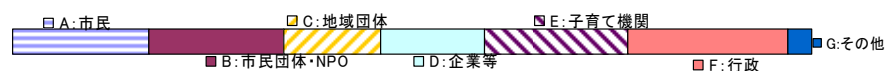
【現状値】 ①25% ②32%

【めざそう値】 3年後：①35% ②40% 6年後：①45% ②45%

【役割の担い手】 ①A:16% B:18% C:15% D:14% E:15% F:19% G:3%



②A:17% B:17% C:12% D:13% E:18% F:20% G:3%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－80》 市民主体の市民文化を創造する芸術文化普及振興活動の推進

＜成果の視点＞ 新たな市民文化が市民の手で育てられ、広まること

〔主要な指標〕 藤沢音楽祭の来場参加者数

《政策－81》 クリエイティブシティ（文化芸術創造都市）の創出

＜成果の視点＞ 文化・芸術活動が様々なところでくりひろげられ、創造文化の溢れるまちであること

〔主要な指標〕 施設整備の進捗状況

事業名	芸術文化活動広域ネットワーク事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-9-81-24-80-3	地域分権区分					
事業内容	本市の優れた芸術文化の地域資源を再認識・再発掘し、一層広域的・横断的なネットワークを構築します。 1 藤沢・茅ヶ崎・寒川による、湘南広域文化交流会事業 2 他市の市民文化会館等で活動している団体との交流					
活動指標	湘南広域文化交流事業入場者数					
目標値	現状値	1,000人	3年後目標値	1,200人	6年後目標値	1,500人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	芸術文化が活性化するために、文化芸術団体や市民などが広域的・横断的な交流を図ることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	広域的文化交流や活動団体との交流により、多様な文化活動が促進され、芸術文化の推進が図られます。					
担当部課	生涯学習部文化推進課					

事業名	市民文化創造事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-81-24-80-4	地域分権区分					
事業内容	文化芸術団体をはじめ市民、NPO、ボランティアや企業等と行政が連携・協働して、芸術文化の人づくりや場づくりを進め、子どもから青少年も含めた将来の藤沢の芸術文化を担う人材の育成や、多種多様な文化芸術の推進を図ります。 1 藤沢音楽祭 2 こころの劇場小学生等招待事業 3 市民シアター第九演奏会 4 市民力・地域力向上のための事業の検討・実施 5 藤沢市30日美術館等					
活動指標	藤沢音楽祭入場者数					
目標値	現状値	1,575人	3年後目標値	1,800人	6年後目標値	2,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	芸術文化と次世代育成の推進や新しい文化の創造のため、市民、NPO、ボランティアや企業等の文化創造への協力が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	魅力ある文化は、人々の豊かな感性や想像力を通じて生まれ、市民に元気を与え地域社会を活性化させ、魅力ある社会づくりが図られます。また、子どもや若者たちの未来へ継承され、新たな芸術文化の創造発信が図られます。					
担当部課	生涯学習部文化推進課					

事業名	文化資料展示施設開設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-9-81-24-81-1	地域分権区分					
事業内容	<p>市の保有する歴史・文化資料とともに、市民からの要望も踏まえて、美術資料や自然系資料など地域に関連する文化資料を総合的に展示し、市民の活用の場としての文化資料展示施設を整備します。</p> <p>1 県立藤沢高校跡地利用を前提に、「施設整備のあり方」について市民を交えた検討 2 公民館等との複合施設としての施設整備の検討 3 施設整備 4 展示公開開始</p>					
活動指標	施設整備に係る進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	40%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、保有する文化資産を公開し、市民の活用に供します。また、市民や市民団体には、市と共に事業を検討し、市民の要望に即した施設運営を行うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→		
(地域)						
期待される事業の成果	文化資料展示施設を開設することで、市民(地域)の歴史・文化情報に対するニーズに応え、郷土愛の醸成が図られます。					
担当部課	生涯学習部生涯学習課					

